

今、日本の「医療」はどこに向っ ているのか

～金勘定で制度設計すると
後期高齢者医療制度になる



2008.10.17

大阪社会保障推進協議会
事務局長 寺内順子

後期高齢者医療制度「廃止法案」 は継続審議に

- 6月に終わった通常国会で後期高齢者医療制度廃止法案は衆議院で「継続審議」に。
- 「解散風」がぴたりと止まってしまった！？
- いずれ、総選挙となれば後期高齢者医療制度は「大争点」となることは間違いなく、私たちの運動にとってはビックチャンスに！

迷走し、トーンダウンした舛添厚労大臣

- 9月19日記者会見で突然「廃止」に言及
- 舛添氏は新制度について、〈1〉加入者を年齢で区分しない〈2〉現役世代と高齢者世代の保険料負担の不公平感を助長しない〈3〉年金からの保険料の天引きは強制しない——の3原則を柱とすることも提案。(読売新聞9月20日付)
- 9月25日与党高齢者医療プロジェクトチーム。
- 根回しなく突然見直し方針を打ち上げた舛添氏への「非難大会」に。

9月25日「高齢者医療制度に関する検討会」 初会合

- 検討会の委員は、教育関係者やNPO関係者ら9人
- 座長は東洋大の塩川正十郎総長（元衆院議員）。
初会合は、
- 24日の舩添要一厚生労働相の発言を受けて急きよ開かれたもの。
- 舩添厚労相「制度の論理がいくら一貫していても、国民に受け入れられないのであれば、政策を変更する必要がある。いい部分は残し、改善すべき点は改善し、制度をさらにいいものに変えていきたい」

10月7日「高齢者医療制度に関する有識者 検討会」～舛添私案

- 後期医療制度が75歳以上で年齢区分する独立型となっているのを改める。
- 国保と統合。
- 運営主体は都道府県。
- 健康保険組合などの被用者保険が財政調整することにより、医療費が増える国保を支える。
- 被用者保険の加入者は75歳になっても、勤務を続けている間は既存の健保組合などに加入を継続する。
- 詳細は1年をめどに検討。

10月からの与党軽減策1 ～後期高齢者医療保険料

- ① 7割軽減世帯のうち被保険者全員が年収80万円以下の世帯の均等割を9割軽減。
 - ※20年度は9割軽減対象者は全員10月からの年金天引きはストップ、実質8.5割軽減

- ② 年収211万未満収入の方は所得割5割軽減
(広域連合の判断、大阪は実施)

10月からの与党軽減策2

～後期高齢者医療と65-74歳国保料

- ①国保の保険料を確実に納付していた者（本人）が口座振替により納付する場合（所得制限を設けない）
- ②連帯納付義務者（世帯主又は配偶者）がいる者（年金収入が180万円未満のもの）で世帯主などの口座振替により納付する場合
・・・について2カ月前に申請あれば年金天引きを普通徴収にできる

高齢者が作り出した大運動

- ◆昨年4月から大阪では大運動開始
- ◆しかし、初めの運動のスタンスは「見直し」
- ◆昨年6月に作成した「花子さんハンドブックでは」……

後期高齢者医療制度 ハンドブック

長生きしたら
いけないの？

75歳になったら
もう人間扱い
されないの？



もうすぐ75歳になる 花子さんは来年からどうなる？

夫をなくし、今は息子夫婦と同居、共稼ぎの息子夫婦を助けて孫の世話をしながら暮す。もともと丈夫だったが、70歳を過ぎて高血圧で月一回血圧管理で内科受診、骨粗しょう症で腰痛がひどいので毎日近所の整形外科に通っている。

医療保険は息子の扶養家族なので、保険料は払っていない。年金が5万円ほどしかないのに、息子と同居していることで5000円近くの介護保険料が目下悩みの種。



花子さんの幼い頃は戦争の真っただ中、戦争が終わり、青春時代は戦後の大混乱期でした。そんな厳しい時もがんばって生きてきた花子さんに2008年4月にお会いできるのは――



いってきまーす。



おばあちゃん
おねがいします。

このイラストの内容は2007年6月時点での厚生労働省が発表している情報をもとに予想したものです。

先生は…

これからはね
75歳以上の人の医療費は
包括制になるんですよ。

自分の思ったようには
医療を受けられなく
なるんですよ。

医療
包括制

今までは
月に1回内科に、
整形外科に毎日
行っていました。

ええっ
!?

ホーカツセイって
何ですか…?

包括制っていうのはね、
言いかえると
定額制のことなんですよ。

病名によって
ひと月あたりの医療費が
決まってしまうので、

診療回数や薬の量を
減らさなければならなかったり…

いくつも病院に
いけなくなったり…

手術のメニューも
決まっていたり…

07.6月時点では詳しい医療内容が不明のため、あくまでも予想される内容です。

ひとこと欄にあなたの声を書いて、
与党(自民、公明)に抗議の葉書をおくりましょう。

与党

自由民主党

〒100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
TEL03-3581-6211

公明党

〒160-0012
東京都新宿区南元町17
TEL03-3353-0111

民主党 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅ビル TEL03-2595-9888

日本共産党 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL03-3403-6111

社会民主党 〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1 TEL03-2592-7501

国民新党 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 神助会館3階 TEL03-5275-2671

新党日本 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-11-4F TEL03-5213-0333

発音よくなら
れでもできる!



花子か
がしはら

ひとこと

長生きしては
いけないの
ですか?

ひとこと

こんなに負担が
かかると
生活が苦しくて
大変です。

後期高齢者医療制度についての
わたしのひとこと

ひとこと

少ない年金が
天引きするの
やめて下さい

ひとこと

お医者さんにも
かかれなくなるの
ですか?

ひとこと

年よきを
いじめない
下さい。

流れを変えたのは高齢者の「怒り」

◆昨年9月の全国高齢者大会

「後期高齢者医療制度は見直しではなく中止・撤回だ」と決議。



大運動のカギは地域での学習活動

◆無数の学習会講師を養成

◎2007年8月6日「第1回講師養成講座」(160人)

◎2007年10月30日「第2回講師養成講座」(150人参加)

◎2008年3月6日大阪聴力障害者協会・大阪障連協と共済で「後期高齢者医療・撤回

●届学習会」(220人参加)

◎2008年4月12日ケアマネジャーのための後期高齢者医療制度学習会(140人参加)

全国の議会が「意見書」採択

- 10月6日現在全国656議会

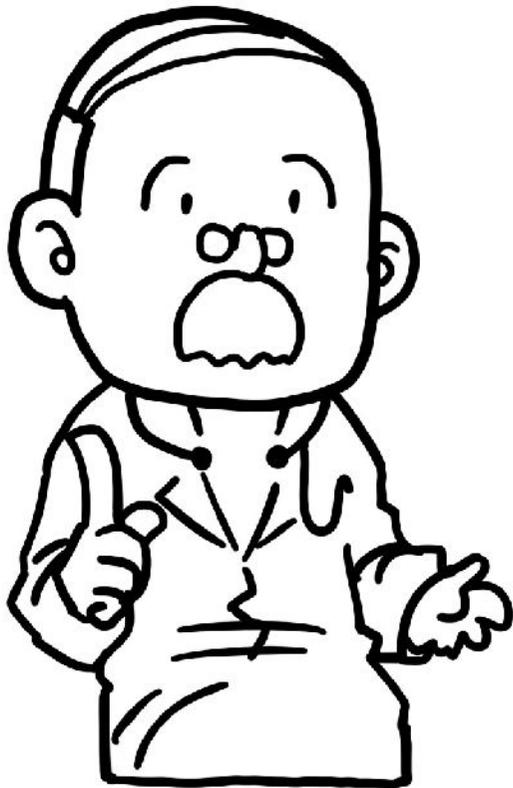
- 大阪では

- ……大阪市、吹田市、摂津市、高槻市、
● 豊能町、枚方市、交野市、寝屋川市、
● 富田林市、千早赤阪村、堺市、
● 貝塚市、八尾市

で採択。

日本医師会「後期高齢者医療見直しを」

- 10月1日の定例記者会見



社会保障費年2200億円
抑制は来年度撤廃を
後期高齢者医療制度見直
しを強く期待

高齢者医療制度は9割公
費、運営主体は都道府県な
ど5つの提案

地域医師会も「反対」決議

- 大阪では、
- 7月11日付で堺医師会が呼びかけて、
- 阿倍野区、北区、此花区、住吉区、大正区、西淀川区、淀川区、都島区、池田市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪狭山市、柏原市、河内長野市、吹田市、摂津市、高石市、富田林市、羽曳野市、藤井寺市、布施、松原市の各医師会との連名で
- 「後期高齢者医療制度を即時廃止せよ」「後期高齢者診療料を早急に撤廃せよ」などを決議。

さらに、地域医師会等が決起集会

7月31日 旭区医師会決起集会

9月11日 堺市医師会決起集会

9月13日 西淀川区医師会決起集会

9月18日 北区医師会決起集会

10月2日 都島区医師会決起集会

……さらに、豊中市、茨木市、吹田市で「シッコ上映会」に医師会が協賛

不服審査請求運動広がる

～全国40都道府県で、7400人以上
の高齢者が「納得できない」「許せ
ない」と不服申し立て



厚生労働省の本音

- 2008年1月18日、石川県後期高齢者医療広域連合主催の「後期高齢者医療
- フォーラム」が開催され、
- 厚労省国民健康保険課課
- 長補佐で後期高齢者医療
- 準備室室長補佐(当時)の
- 土佐和男氏が「後期高齢者
- 医療制度高齢者医療制度の
- 創設とねらい」というテーマで基調講演を行った。



本音～何故、後期高齢者医療制度をつくったのか

- ◆国の医療費がどんどん増える。将来60兆円にもなる。
- ◆75歳以上の高齢者は一人当たり、75万円、64歳～74歳は一人当たり35万円、65歳未満は、15万円かかっている。

本音～どこがこれまでと違うのか

- ◆ 全ての人が保険料を払うことにした。
- ◆ 医療費の10%を後期
高齢者が負担する
仕組みにした。



本音～何故、独立型保険にしたのか。

- ◆医療費が際限なく上がっていく痛みを、後期高齢者が自ら自分の感覚で感じ取っていただくことにした。
- ◆例えば月25回通院している人が多くいれば医療費があがる。それを月20回に減らせば、医療費が下がり保険料は下がる。

本音～医療費の高い県は、北海道、福岡、大阪

- ◆大阪は何故高いか。大阪ではかゆいところに手が届く濃厚診療が行われているからである。
- ◆医療費が高いところは保険料が高くなる。医療費抑制のために努力されている県は負担が少なくなる。

本音～若い人たちの保険料

- ◆若い人たちの保険料は3本立てとなる。
(1)74歳未満の保険料(2)後期高齢者を支える保険料(3)介護保険料である。
- ◆医療費が上がれば上がるほど保険料が上がる。助け合いや予防活動などで保険料が下がる。従って、誰のために保険料が上がったのか、誰が努力して保険料が下がったのかがはっきりみえる形になった。

本音～保険料の年金天引き

- ◆後期高齢者医療制度では未納者の分まで分担しなくてもよいよう年金天引きにした。
- ◆また、保険料を納めに行くのは大変面倒で、とりわけ寒い冬の場合はなおさらそうである。そうした面倒をかけないで済むように年金天引きをした。

本音～資格証明書について

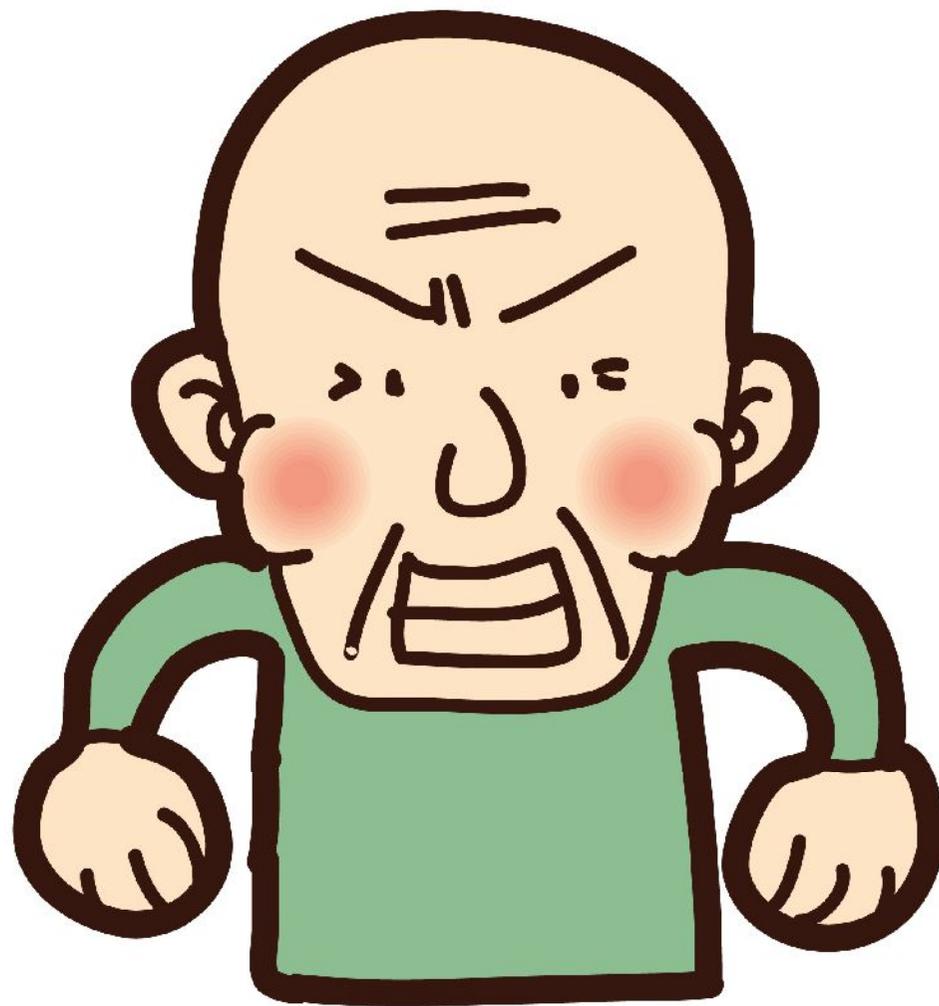
- ◆後期高齢者の人たちはきちんと保険料を納めている人が多いので、保険料を滞納する人は大変少ない。
- ◆それでも保険料を滞納として残すのは悪質な人である。

本音～最後に言いたいこと

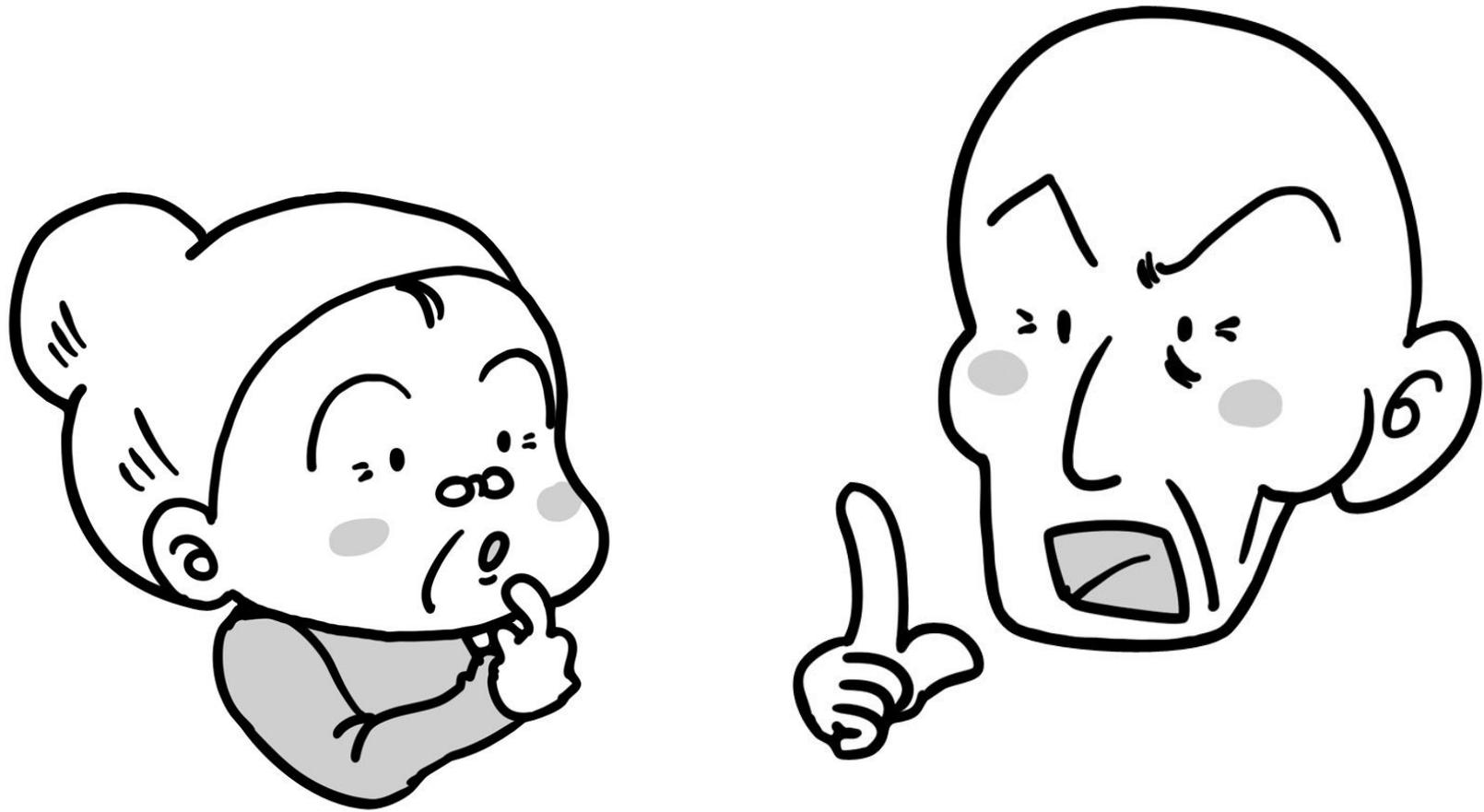
- ◆75歳以上の医療費があがると保険料が上がることを十分理解してほしい。
- ◆風邪引いても田舎ではすぐ病院にはいかない。自分も都会にでてきて、風邪を引いたら医療機関に行くようになった。田舎にいたときは親が厳格な人だったので、風邪を引いたら、乾布摩擦をして治していた。

「後期高齢者医療制度」

何のために作ったのか、わかりましたね



金勘定で制度設計すると
「後期高齢者医療制度」になる。



「金勘定」で政策決定するな

- ◆今、日本の政治家や官僚は、金勘定で政策決定をし、制度設計をしているが、そこに生き、暮らしている人々がいることを完全に忘れている。そして、医療も福祉も介護も崩壊の一途をたどっている。
- ◆しかし、そんなことをすれば、その先に国そのものの崩壊になるということに気がついていない。

社会保障費2200億円削減で今何が...

医療崩壊

- ◆ 医者がいない、看護師がたりない、
- ◆ 入院するベットがない
- ◆ 末期がんでも退院させられる
- ◆ 病院がつぶれる
- ◆ 国民健康保険料が高すぎて払えない
- ◆ 一部負担金が高くて医療にかかれない

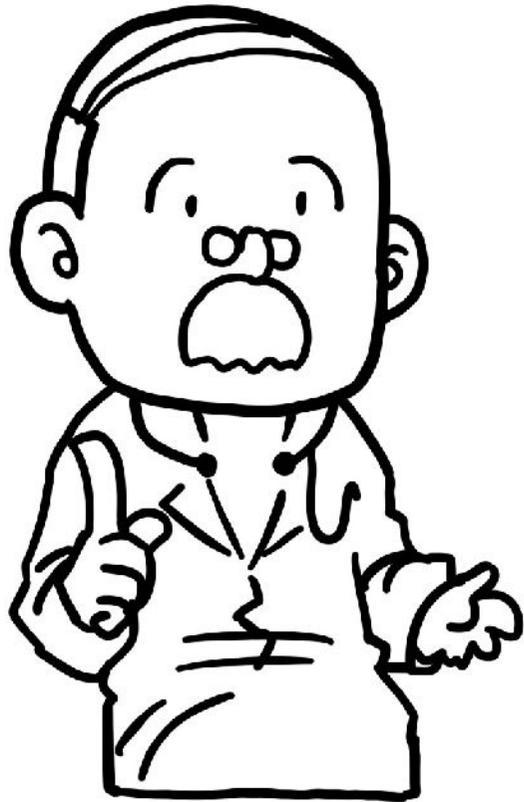
社会保障費2200億円削減で今何が…

福祉・介護崩壊

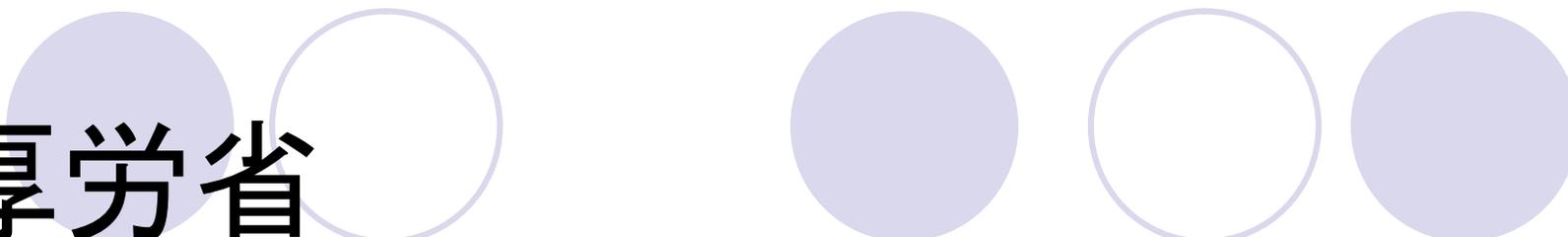
- ◆福祉・介護現場で働く労働者、ホームヘルパー、ケアマネジャー、ケアワーカー、施設職員などがいない、
- ◆経営ができないので事業所が閉鎖。
- ◆介護保険料を無理やり取られているのに介護保険サービスが使えない
- ◆特別養護老人ホームなどの施設に入りたくても入れない

「医師不足」はなぜ起こるのか

- 研修医が医学部卒業後に研修病院を自由に選べる「研修医制度」変更が原因ではない。



- ◆ 圧倒的に医師が不足していることが原因。



厚労省

「医師が増えれば医療費が増える」

2004年度全国医師数25万9000人、人口1000人当2.0人。

OECD加盟30国中27位という低ランク。

OECD平均と比べても14万人少ない。

「高齢者を馬鹿にするな」「いのちを大切にしろ」は、人間としての尊厳をないがしろにするものへの「怒り」



いまや制度の「中止・撤回」は夢ではない

- ◆後期高齢者医療制度実施で、与党は全国1300万人の後期高齢者とその家族を敵にまわした。その結果が衆議院山口2区補選と沖縄県議選に現れた。
- ◆いつ、解散総選挙があるかはわからないが、「後期高齢者医療問題」が大争点になることは間違いない。

トヨタ1社で1900億円税金免除！

- ◆世界一大企業「トヨタ」が2007年度だけで本来収めるべき法人税のうち1900億円を負担していない。
- ◆法人にかけられる法人税はそれを社会保障財源などにして社会貢献をするためのもの
- ◆日本というこの国はどれほど大企業に優しくすれば気が済むのか!!

霞が関には「埋蔵金」がある！！

- ◆埋蔵金とは「特別会計」積立金のこと。
- ◆この3年間で50兆円使える（東洋大学・高橋洋一教授）
- ◆たとえば・・・

労働保険特別会計
の繰越金だけ
でも8000億円！！



防衛費 年間予算5兆円！

- 社会保障財源はある！！
- 取るべきところからとっていない、
- 使えるお金をだしていかない、
- ……ということに過ぎません。

いまこそ、人間としての「尊厳」「プライド」をかけた、「怒り」の運動で国の在り様を変えよう。

